

# 麻 醉 科 学

## Anesthesiology

教 授	山崎 光章	Mitsuaki Yamazaki
助 授	広田 弘毅	Koki Hirota
講 師	釈永 清志	Kiyoshi Shakunaga
講 師	畠山 登	Noboru Hatakeyama
助 手	朝日 丈尚	Takehisa Asahi
助 手	佐々木利佳	Rika Sasaki
助 手	笹原孝太郎	Koutaro Sasahara
助 手	増田 達	Tohru Masuda
助手(前)	永川 保	Tamotsu Nagakawa
技 官	藤森 俊雄	Toshio Fujimori

### ◆ 著 書

- 1) 山崎光章, 畠山 登, 広田弘毅: 吸入麻酔と心血管系。「吸入麻酔 薬理から使用法まで」外 須美夫編, 112-133, 真興交易医書出版部, 東京, 2003.
- 2) 釈永清志, 山崎光章: 低血圧に対する昇圧薬の選択. 麻酔科診療プラクティス9「周術期治療薬ガイド」高崎真弓他編, 42-43, 文光堂, 東京, 2003.
- 3) 畠山 登, 渋谷伸子, 山崎光章: 前処置・前投薬。「ダイナミックメディスン6」下条文武, 齋藤 康監修, 辻 省次他編, 23章19-21, 西村書店, 2003.
- 4) 畠山 登, 山崎光章: 救急処置(心肺蘇生(一時救命処置と二次救命処置))「ファーマシューティカルノート」百瀬弥寿徳編, 600-609, 医学評論社, 東京, 2003.
- 5) 畠山 登, 山崎光章: 輸液と薬物療法。「ファーマシューティカルノート」百瀬弥寿徳編, 610-618, 医学評論社, 東京, 2003.
- 6) 畠山 登, 山崎光章: ショック。「ファーマシューティカルノート」百瀬弥寿徳編, 619- 625, 医学評論社, 東京, 2003.
- 7) 朝日丈尚, 山崎光章: 病的肥満. 麻酔科診療プラクティス11「気道確保のすべて」高崎真弓他編, 164-165, 文光堂, 東京, 2003.

### ◆ 原 著

- 1) Sasaki R., Hirota K., Yamazaki M.: Ionised magnesium concentrations in non-neurosurgical patients undergoing spinal anaesthesia. *Anaesthesia*, 58:1246, 2003.
- 2) Nagakawa T., Yamazaki M., Hatakeyama N., Stekiel TA.: The Mechanisms of propofol-mediated hyperpolarization of in situ rat mesenteric vascular smooth muscle. *Anesth Analg*, 97:1639-1645, 2003.
- 3) Masuda T., Ogawa H., Matsushima T., Kawamata S., Sasahara M., Kuroda K., Suzuki Y., Takata Y., Yamazaki M., Takusagawa F., Pitot H C.: Localization and hormonal control of serine dehydratase during metabolic acidosis differ markedly from those of phosphoenolpyruvate carboxykinase in rat kidney. *The International Journal of Biochemistry & Cell Biology*, 35:1234-1247, 2003.
- 4) 広田弘毅, 坂本菜摘, 山崎光章, 中丸勝人: 人工膝関節置換術におけるターニケット開放時の血圧ガス変化. *北陸麻酔学雑誌*, 37: 35-40, 2003.
- 5) 朝日丈尚, 山崎光章: 手示指切断に対する緊急接着術: 腕神経叢ブロックに正中・橈骨両末梢神経ブロックを併用し誤嚥を避ける. *Lisa*, 10:1204-1208, 2003.
- 6) 山田正名, 畠山 登, 渋谷伸子, 百瀬弥寿徳, 山崎光章: セボフルランによるQT間隔延長機序についての電気生理学的検討. *麻酔*, 52:482-488, 2003.
- 7) 神谷和男, 樋口昭子, 朝日丈尚, 吉田 仁: 高齢者の術後せん譫妄発生率. —全身麻酔と脊髄くも膜下麻酔の比較—. *麻酔*, 52:972-975, 2003.

### ◆ 総 説

- 1) 山崎光章, 畠山 登: 器質的な病態が固定しているのに痛みを執拗に訴える患者(慢性の痛み症候群). *治療*. 85:2147-2151, 2003.

### ◆ その他

- 1) 山崎光章: 麻酔と経済について. *麻酔*, 52:831, 2003.
- 2) 大江公晴: 文献抄訳. *ペインクリニック*, 24:725, 2003.
- 3) 大江公晴: 手術後の痛み. *治療*, 85:2071-2072, 2003.
- 4) 大江公晴: 糖尿病性神経障害. *治療*, 85:2145-2146, 2003.

### ◆ 学会報告

- 1) 山崎光章, 渋谷伸子, 釈永清志, 笹原孝太郎, 柳 堅徳: CHDFフィルターの寿命と抗凝固剤に関する調査. 第30回日本集中治療医学会総会, 2003, 2, 札幌.
- 2) 渋谷伸子, 山崎光章, 釈永清志, 笹原孝太郎, 柳 堅徳: バルビタールとBISモニターを用いて管理した破傷風の一例. 第30回日本集中治療医学会総会, 2003, 2, 札幌.
- 3) 広田弘毅, 遠藤菜摘, 山崎光章, 中丸勝人: 人工膝関節置換術におけるターニケット開放時の血液ガ

- ス変化. 第72回日本麻酔科学会北陸地方会, 2003, 3, 富山.
- 4) 笹原孝太郎, 高橋博之, 長田拓哉, 岸本浩史, 魚谷英之, 坂東 正, 南村哲司, 塚田一博: 肝虚血再灌流障害における肝転移の増加. 第8回肝循環懇話会, 2003, 3, 東京.
  - 5) Hatakeyama N, Yamada M, Shibuya N, Yamazaki M, Momose Y.: Effects of sevoflurane and propofol on HERG-like current in guinea pig single ventricular myocyte. *Experimental Biology*, 2003, 4, San Diego U. S.A.
  - 6) 山田正名, 畠山 登, 渋谷伸子, 山崎光章, 百瀬弥寿徳: モルモット単離心室筋を用いた, セボフルランおよびプロポフォールによるQT間隔変化に対する電気生理学的検討. 日本麻酔科学会第50回学術集会, 2003, 5, 横浜.
  - 7) 神谷和男, 朝日丈尚, 高木麻里, 野原明美, 吉田 仁, 樋口昭子: 下肢ターニケット使用による硬膜外麻酔併用全身麻酔中の鼓膜温変化-室温の影響-。日本麻酔科学会第50回学術集会, 2003, 5, 横浜.
  - 8) 朝日丈尚, 神谷和男, 寺田美緒子, 松澤聖実, 吉田 仁, 樋口昭子: 下肢ターニケット使用時の鼓膜温変化-室温の影響-。日本麻酔科学会第50回学術集会, 2003, 5, 横浜.
  - 9) 朝日丈尚, 広田弘毅, 佐々木利佳, 山崎光章: ラット海馬CA1の反回性抑制に及ぼす揮発性麻酔薬と静脈麻酔薬の作用. 日本麻酔科学会第50回学術集会, 2003, 5, 横浜.
  - 10) 佐々木利佳, 広田弘毅, 朝日丈尚, 山崎光章: 海馬CA1において無酸素負荷により生じるspontaneous spreading depressionに対するチオペンタールの作用. 日本麻酔科学会第50回学術集会, 2003, 5, 横浜.
  - 11) 長谷川和彦, 釈永清志, 山崎光章: 解離性大動脈瘤症例におけるACT延長不良症例の検討. 日本麻酔科学会第50回学術集会, 2003, 5, 横浜.
  - 12) 松澤聖実, 神谷和男, 寺田美緒子, 吉田 仁, 樋口昭子: 大腿骨頸部骨折における術後せん妄の発生頻度-受傷前ADL, 痴呆レベルとの関係-。日本麻酔科学会第50回学術集会, 2003, 5, 横浜.
  - 13) 佐々木利佳, 畠山 登, 渋谷伸子, 山崎光章, 百瀬弥寿徳: 塩酸オルプリノンの心筋保護作用発現機序についての検討. 日本麻酔科学会第50回学術集会, 2003, 5, 横浜.
  - 14) 畠山 登, 山田正名, 渋谷伸子, 百瀬弥寿徳, 山崎光章: ドロペリドールによるQT延長作用発生機序についての電気生理学的検討. 日本麻酔科学会第50回学術集会, 2003, 5, 横浜.
  - 15) 笹原孝太郎, 岸本浩史, 高橋博之, 長田拓哉, 魚谷英之, 坂東 正, 南村哲司, 塚田一博: 肝虚血再灌流障害と肝細胞アポトーシス, 肝転移の検討. 第103回日本外科学会, 2003, 6, 札幌.
  - 16) 堀川英世, 畠山 登, 朝日丈尚, 長谷川和彦, 山崎光章: エピドラスコピーによる腰・下肢痛治療の紹介. 平成15年度富山県麻酔科医会研究会, 2003, 7, 富山.
  - 17) 朝日丈尚, 広田弘毅, 佐々木利佳, 山崎光章: ラット海馬CA1の反回性抑制経路に及ぼす揮発性麻酔薬と静脈麻酔薬の作用. 第21回麻酔メカニズム研究会, 2003, 7, 千里.
  - 18) 佐々木利佳, 広田弘毅, 朝日丈尚, 山崎光章: 海馬CA1において無酸素負荷により生じるspontaneous spreading depressionに対する低体温, マントニールの影響. 第21回麻酔メカニズム研究会, 2003, 7, 千里.
  - 19) 長谷川和彦, 畠山 登, 朝日丈尚, 大江公晴, 山崎光章: 下肢のCRPS type1治療中に上肢のCRPS type1を生じた一例. 日本ペインクリニック学会第37回大会, 2003, 7, 仙台.
  - 20) 大江公晴, 成田 年, 矢島義識, 久保田千晴, 芝崎真裕, 山崎光章, 鈴木 勉: 疼痛制御機構に関する研究(第16報)~脊髄内protein kinase Cの活性化によるmorphine依存の不形成~。日本ペインクリニック学会第37回大会, 2003, 7, 仙台.
  - 21) 笹原孝太郎, 高橋博之, 長田拓哉, 野本一博, 岸本浩史, 山崎一磨, 魚谷英之, 坂東 正, 南村哲司, 塚田一博: 肝虚血再灌流障害と肝転移, Glycyrrhizinによる肝転移抑制効果. 第58回日本消化器外科学会総会, 2003, 7, 東京.
  - 22) 永川 保, 広田弘毅, 山崎光章: 麻酔導入後に洞不全症候群を発症した2症例. 第73回日本麻酔科学会東海・北陸支部北陸地方会, 2003, 8, 金沢.
  - 23) 大江公晴, 成田 年, 久保田千晴, 芝崎真裕, 矢島義識, 山崎光章, 鈴木 勉: Morphine誘発報酬効果発現に対する脊髄内protein kinase Cの役割. 第24回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム, 2003, 9, 東京.
  - 24) Hatakeyama N., Yamada M., Shibuya N., Yamazaki M., Momose Y.: Different mechanisms on QT prolongation induced by droperidol and sevoflurane in guinea-pig

single ventricular myocytes. ASA Annual Meeting, 2003, 10, San Francisco U.S.A.

- 25) 佐藤根敏彦, 高道昭一, 渋谷伸子, 畠山 登, 中丸勝人: 自動麻酔記録を導入して—その評価と展望—. 日本臨床麻酔学会第23回大会, 2003, 10, 下関.
- 26) 神谷和男, 樋口昭子, 加藤 晋, 齋藤伸行, 高木麻里, 野原明美, 吉田 仁, 朝日丈尚: 下肢ターニケット使用時の鼓膜温の変化—低体温予防の効果—. 日本臨床麻酔学会第23回大会, 2003, 10, 下関.
- 27) 佐々木利佳, 広田弘毅, 中丸勝人, 山崎光章: 妊娠におけるマグネシウムイオンの変動. 日本臨床麻酔学会第23回大会, 2003, 10, 下関.
- 28) 天谷由香里, 朝日丈尚, 広田弘毅, 山崎光章: 側臥位において術中気管挿管を必要とした覚醒開頭術の1症例. 日本臨床麻酔学会第23回大会, 2003, 10, 下関.
- 29) 堀川英世, 朝日丈尚, 広田弘毅, 山崎光章: 麻酔覚醒後無呼吸発作をきたしたMiller-Dieker症候群の1例. 日本臨床麻酔学会第23回大会, 2003, 10, 下関.
- 30) 笹原孝太郎, 高橋博之, 湯口 卓, 長田拓哉, 野本一博, 岸本浩史, 野沢聡志, 魚谷英之, 坂東正, 南村哲司, 阿部秀樹, 齊藤光和, 広川慎一郎, 塚田一博, 田中三千雄: EMR後に粘液癌で遺残再発した大腸腫瘍の1例. 第66回日本消化器内視鏡学会, 2003, 10, 大阪.
- 31) 佐々木利佳, 広田弘毅, 朝日丈尚, 天谷由香里, 山崎光章: 覚醒開頭術の気道管理: 側臥位における気管挿管法の紹介と連続血液ガス分析測定システムの使用経験. 第1回日本Awake Surgery 研究会, 2003, 11, 沖縄.

#### ◆ その他

- 1) 広田弘毅: 眼科医の医療業務中における救急処置について. 富山県眼科医会講演会, 2003, 2, 富山.
- 2) 釈永清志: 教育講演; 文献レビュー—心臓麻酔一般. 第8回日本心臓血管麻酔学会学術大会・総会, 2003, 9, 奈良.

## 歯科口腔外科学

### Oral and Maxillofacial Surgery

教授 古田 勲 Isao Furuta  
講師 和田 重人 Shigehito Wada  
助手 伊藤 重人 Shigeto Itoh  
助手 今村 知代 Tomoyo Imamura  
助手 姚 立 Yao Li

#### ◆ 原 著

- 1) 和田重人, 山岸美智子, 古田 勲: きわめて巨大な下顎隆起症例—切除における下顎隆起鉤の有用性—. Hosp Dent(Tokyo), 14:121-124, 2002 (前年未掲載).
- 2) 今村知代: 自傷行為による舌潰瘍形成を認めた2例. 日歯心身医学会誌, 17:89-95, 2002(前年未掲載).
- 3) Wada S., Tazawa K., Furuta I., and Nagae H.: Antitumor effect of new local hyperthermia using dextran magnetite complex in hamster tongue carcinoma. Oral Diseases 9:218-223, 2003.
- 4) Tazawa T., Wada S., Yatsuzuka M., Saito T., Nagano I., Igarashi K., Furuta I., and Nagae H.: Development of the portable inductive heating system using Dextran magnetite complex(DX)—heating characteristics in vitro and antitumor effect in VX-2 tumor-bearing rabbit—. Jpn. J. Hyperthermic Oncol. 19:79-87, 2003.
- 5) 和田重人, 古田 勲, 山秋洋人, 高桜武史: 入院管理を要した急性歯性感染症の臨床的検討—CRP値と重症度の関連について—. 日有病歯誌, 12: 61-66, 2003.
- 6) 河内和美, 和田重人, 前田美代子, 古田 勲: 当科における舌, 口唇, 頬小帯異常患者の臨床的検討. 近畿北陸地区歯科医学大会雑誌, 55:153-155, 2003.

#### ◆ 症例報告

- 1) 和田重人, 奥田泰生, 古田 勲: 口腔前庭拡張術を行った劣性栄養障害型先天性表皮水疱症の1例. 日有病歯誌, 11:155-160, 2002.
- 2) 井上さやか, 伊藤重人, 和田重人, 津野宏彰, 姚 立, 古田 勲: 下顎歯肉に発生したbasaloid squamous cell carcinoma の1例. 口科誌, 52: 195-199, 2003.
- 3) 津野宏彰, 和田重人, 伊藤重人, 高桜武史, 井